

# 農業普及だより

No. 384 令和7年1月発行

知多農林水産事務所農業改良普及課

半田市出口町1-36 (0569)21-8111



新年あけましておめでとうございます。  
本年も生産者、関係者の皆様とともに知多地域の農業の発展に  
取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

## 地域農業のリーダーとなる三士が新たに9名が認定

### 農業経営士



竹内 邦仁  
大府市・施設園芸



鈴木 史延  
大府市・果樹



竹内 健統  
知多市・施設園芸

### 農村生活アドバイザー



伴野 恵美  
東海市・花き



杉浦 美香  
阿久比町・畜産



國分 範子  
阿久比町・果樹等多品目

### 青年農業士



平松 読  
東海市・花き



佐藤 将大  
知多市・花き



綱島 慶人  
南知多町・露地・施設園芸

農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士の認定式が、令和6年11月21日（木）に県庁本庁舎（名古屋市）で古本副知事出席のもと開催されました。

県全体で三士85名が認定され、知多地域からは、9名（農業経営士3名、農村生活アドバイザー3名、青年農業士3名）が認定されました。

地域農業のリーダーとして、今後の活躍が期待されます。

## 農業経営士協会知多支部がカラス対策の研修会を開催

農業経営士協会知多支部主催の研修会が令和6年11月7日（木）に半田商工会議所で開催され、農業経営士や農村生活アドバイザーを含む38名が参加しました。

知多地域の鳥獣種別の被害金額はカラスによる被害が最大であることから、講師にカラス研究で著名な株式会社CrowLab（クロウ ラボ）代表取締役の塙原直樹氏を、助言者に農業総合試験場から林専門員と西村主任を招き、カラス対策のポイントについて学びました。塙原氏からは、カラスの視覚や聴覚などの生理的特徴や全国各地域で実施されている様々なカラス対策の近況について講演がされました。講演後は農業経営士や農村生活アドバイザー等から次々と質問が出され、日頃のカラス対策で困っていることや疑問に思っていることを情報共有でき、有意義な研修会となりました。



塙原直樹氏の講演

## 新規就農者セミナーを開催

新規就農者セミナーをJAあいち知多青年部、(株)日本政策金融公庫との共催で、JAあいち知多総合本部ビルにて12月3日に開催し、新規就農者やJAあいち知多青年部員32名が出席しました。

セミナーでは、林ぶどう園の園主である林佑亮氏が「将来を見据えた農業～就農10年を通して～」と題し、地域の先輩農業者として目標に向けて行動することの大切さを伝えました。また、社会保険労務士法人亀井労務管理事務所の青嶋輝氏から「農業における労務管理のポイント」について、株式会社アグリトリオの深谷祐貴氏から「1日農業バイトアプリ農Howの紹介について」の講演をいただき、充実したセミナーとなりました。



セミナーの様子

## 獣害対策資材の効果を検証

知多地域のブドウほ場では、数年前からハクビシンやアライグマなどの中型野生動物による食害が増加しています。そこで、農業改良普及課では埼玉県農業技術研究センターが開発した、電気柵と防風ネットを組み合わせた中型動物向けの侵入防止柵「楽落くんライト」の効果を検証しました。

東浦町のブドウほ場に「楽落くんライト」を設置し、7月から9月にかけてトレイルカメラを用いて野生動物の侵入状況を確認しました。その結果、ハクビシンが電線に触れて逃げていく様子が撮影されました。また、前年まで毎年20房程度あった食害の被害が見られなかったことから、中型動物の侵入防止効果があることを確認できました。



設置した「楽落くんライト」



撮影された  
ハクビシン

## 大府市が有機農業推進のためオーガニックビレッジを宣言

大府市では有機農業を推進するため、今後5年間における「有機農業実施計画」を策定しました。これに合わせて令和6年11月22日（金）に市役所にてオーガニックビレッジ宣言式を行いました。

大府市は、令和5年2月に設立された有機農業を推進するグループ「おおぶニックのWA」と連携して、有機農業で生産された米と野菜の給食への提供や有機農業の担い手の育成、水稻栽培技術の実証などに取り組んでいます。

大府市では、5年後の有機農業の目標として、水稻の作付面積を令和5年度の1.4haから10倍の14haに拡大することと、水稻と野菜を合わせた担い手を20人育成することを目指しています。さらに、生産された農産物

は「おおぶニック」（地名の大府とオーガニックを合わせた造語）という愛称で市内全ての小・中学校及び公立保育園の給食に提供されていて、今後も給食での提供拡大を目指しています。

農業改良普及課では、「おおぶニックのWA」の水稻生産者に対し栽培技術の向上による安定生産を図るため、ほ場巡回での栽培指導や関係機関との情報交換などを行うとともに、機械除草機の防除効果・省力効果の実証試験の実施を支援しています。



大府市オーガニック  
ビレッジ宣言式